

青果の情報WEBで発信

「みんなの青果」開設

このほど青果のPRポータルサイト「みんなの青果」(写真下)が本格オープンした。野菜・果物の情報を、流通業者や消費者に向けて発信する。運営会社であるサイカ(東京都中央区)の増山健司編集長(写真左)は、東京・豊洲市場の青果仲卸の専務でもある。仲卸入社前にはリクルー

トに勤務し、グルメサイト『ホットペッパー』の営業や広告制作などを担当。仲卸ならではの青果の知識と、メディア制作

で培った情報発信のノウハウなどを活かして2021年にサイカをベンチャー起業。消費者・流通業者・生産者の「ハピ

ートライアングル」を作

る。「みんなの青果」は、農家や農協などの生産者が掲載料を支払い、編集部が原稿を作成、掲載する。商品情報は20枚程度の写真に加え「出荷時期」「品種」「出荷規格」「主な販売店」などの商品情報とともに、「生産者イチオシのポイント」「おすすめレシピ」などを掲載。すべての商品を統一フォーマットで紹介することで、比較検討しやすいように配慮する。

サイト開設の理由は、

「日本全国の野菜・果物を網羅した情報サイトがなかったから」と増山編集長。「新商品を仕入れ

た時にネットで調べても、情報が全く得られないことが多い」「情報が入手できても消費者が知りたい情報が掲載されていないことも多い」という。一方で「生産者や産地が創意工夫を凝らして栽培しているも、その情報が流通業者や消費者に届いていない」とも。

そのため、多くの青果物の情報が網羅できれば、流通業者は商材を探す際の一助に、消費者も食べてみたい野菜や果物がどこで入手できるかわかる。さらに「生懸命

つくったけれど、売り方がわからない」という生産者にとっても手軽、低価格で青果物をPRできるメリットがある。現在

の掲載は数社だが、今後増やしていく。個人の生産者だけでなく、「JAの部会や自社ブランドの青果や加工品を展開する市場業者などにも参加して欲しい」と呼びかける。

掲載スタイルは一品目

につき商品情報の各種項目と写真20枚程度。掲載料(制作費を含む)は1品目で月間1500円だが、現在は無料キャンペーンを実施中。

「みんなの青果」ps://oyasaikuda mono.com/



増山健司編集長(写真左)は、東京・豊洲市場の青果仲卸の専務でもある。仲卸入社前にはリクルー